

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和1年11月30日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670105107
法人名	医療法人 碩済会
事業所名	グループホーム敬史館
所在地	鹿児島市本名町494 (電話) 099-294-1717
自己評価作成日	2019年11月6日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和元年11月22日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

- ① 介護の質の向上を図るため、全職員の外部研修参加を目指し、ホームでのフィードバック研修会の実施をしている。
- ② 利用者様が安心・安全に生活していただく為に、年3回災害時想定避難訓練・誘導訓練・消火訓練・通報訓練など年間を通して実施している。吉田分遣隊指導の訓練も行い防災意識を高めている。
※スプリンクラー設置により利用者様・ご家族様からの安心・安全も得ている
- ③ 地域への参加・地域住民との交流としてホームでの夏祭りの実施、地域の敬老会や町内会の行事などへの参加を行い地域との交流に努めている
- ④ 近隣施設との交流の一環として運営推進会議への参加、協力病院での研修会参加により勤施設とは密接な関係作りを行っている
- ⑤ 重度化対策として、重度化になっても安心して入浴していただけるよう特殊浴槽機を設置している

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは鹿児島市吉田支所から少し離れた閑静な農村地帯に、同法人母体の協力医療機関や老人保健施設、在宅福祉の事業所、託児所等に隣接して設置されており、周辺には児童養護施設や看護専門学校、一般住宅等が混在している。協力医療機関との連携は日常的に図られ、他事業所との災害時の支援体制や、老健施設の研修にホームの職員も参加する等、協力体制が構築されている。

開設して13年が経過し、ホームは地域密着型事業所として地域住民に周知されて、日頃から地域の人々と挨拶や会話を交わし、友人知人の来訪、ボランティアの受け入れ、自治会に加入して回覧板による連携やイベントへの参加、農産物を頂くなど円滑に交流している。また、法人主催の秋祭りには、地域の多くの人々の参加が得られて、利用者の楽しみとなっている。

管理者及び職員は、理念に沿って利用者が地域と触れ合いながら、その人らしく平穏で生きがいのある生活となるよう、利用者及び家族の意見や要望等の把握に努め、尊厳や主体性に配慮した支援に取り組んでいる。食事や入浴、排泄等のケアの際は、利用者の習慣や好み、意欲等に配慮し、無理強いしない利用者主体の柔軟な姿勢に努めている。

管理者及び職員は、信頼関係と協調性を大切に気軽に意見を言い合える関係を構築している。申し送りや全体ミーティング時には、ホームの運営や利用者のケアの改善に関する意見交換を、予定時間を超える位熱心に行うなど、サービスの向上や働きやすい職場環境の整備に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	施設独自の理念を作成している。毎朝申し送り時、理念を唱和し、理念の共有を図り、意識して実践に繋げている。	理念はホールや事務室等に掲示し、毎朝の申し送り時に唱和して共有を図っている。日々のケアの中や全体ミーティング等で振り返りや意見交換を実施して、理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、行事への参加、回覧板の閲覧にて情報を得て交流の機会を設けている。	自治会に加入し、総会への出席や地域のイベント(敬老会や鬼火焚き等)へ参加し、日頃から散歩や買い物時には地域の人々と挨拶や会話を交わしており、友人知人の来訪、回覧板による連携、ボランティアの受け入れ、農産物を頂くなど円滑な交流が図られている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	福祉フェスタ、地域文化祭・敬老会等地域の催しに参加している。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を二か月に一回開催している。施設サービスを報告し、理解に努め、地域との連携を通じた取り組みをサービス向上に活かしている。	会議は家族や利用者、地域住民、他法人のグループホーム職員、市地域包括支援センター職員等が参加して定期的で開催している。ホームや利用者の現況報告のほか、行事、ヒヤリハット、防災、地域の情報等について熱心に意見交換が行われており、業務の改善や日々のサービス向上に役立っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	定期的に他事業所、行政関係者への入退所状況情報の共有を図り、常に協力体制が出来ている。	市担当者には、電話や訪問でホームの運営や利用者のケアに関すること、各種制度の手続き上の相談を行って助言・対応をもらうなど協力関係を築いている。市や市社協主催の会合や研修会等にも積極的に出席して、意見や情報の交換も行ってホームの運営やサービスの改善に繋げている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	毎月のリスク委員会にて検討会を実施し、毎月のスタッフミーティングにて各スタッフへ理解・認識を深めている。	身体拘束廃止については運営規定に明記し、定期的な委員会の開催やミーティング等で具体的事例を基に意見交換等を行い、また、身体拘束や高齢者虐待に関する研修も計画的に実施して職員の理解を深めて、拘束のない適切な支援に取り組んでいる。昼間は施錠はしないで常に寄り添いや見守りで利用者の状況把握に努め、不穏な利用者には対話や散歩の同行など工夫して安定を図っている。ことばづかいも日頃から注意しあって改善に努めている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	委員会を中心に、毎月1回検討会を実施し、虐待防止への意識、理解に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	スタッフミーティングにて権利擁護の制度について勉強会を実施し、職員の周知、意識、浸透に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者・ケアマネージャー・計画作成担当者を中心に口頭又は文書にて説明し、理解・納得を頂いたうえで署名・捺印を頂いている。自由に見学ができる体制づくりである。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や意見箱を設置し、活用することで要望等自由に意見交換が出来るように努めている。	利用者の思いや意見は日常会話や所作の見守りなどで理解に努め、家族からは訪問時の対話や家族会(年2回)、意見箱の設置、運営推進会議、電話等で要望や意見を把握している。これらは申し送りや全体ミーティングで内容を共有しケアに反映できるように取り組んでおり、家族へは電話や来所時、ホーム便りなどで報告を行っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の職員ミーティングにて各委員会からの報告や代表者会議でも職員からの意見・提案を受けて反映されている。	管理者は、日ごろから職員が気軽に意見を言いやすい環境づくりに心掛けている。全体ミーティングや申し送りでの意見交換は活発で、業務改善や利用者へのサービス向上に繋げている。健康診断時に実施されるストレスチェックの結果にも配慮しながら職場環境や就業条件の改善、資格取得へのバックアップなどに努めている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	定時の休憩時間を設けて気分転換できるように努めている。 (時間外・休日出勤については手当を支給している。) 休憩室の設置あり。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間行事に基づき、施設内研修に参加し、研修報告を行い、職員育成に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>同地区他事業所の運営推進会議に参加し、情報・意見交換の機会作りに努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前には本人と面談し、不安や要望を聴き取り、ケアに当たる職員で情報を共有。ご本人に安心していただくよう心掛けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	面会など来られた時、ご本人の状態を報告し、ご家族の意見や要望を聞き出せるよう関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族が必要としている支援を担当者・ケアマネージャーと連携し、必要に応じてサービス利用の検討を行っている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の残存能力や機能に応じて一緒にできることがないか考えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月に1回新聞を発行し、本人の状況を報告したり、月の行事計画をお知らせしたりして面会の機会作りを行っている。行事参加の声掛けを行いながら関係づくりに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族、友人、知人などが訪ねてこられた時はゆっくり過ごしてもらえる様居室に案内しお茶等提供している。	利用者の家族や知人・友人の来訪の際には、ゆっくり談笑できるようお茶や場に配慮している。また、電話や手紙、贈り物等の取り次ぎに努め、読書や計算ドリル、ぬり絵など趣味への取り組み、本人の意向に沿って買い物・墓参り・一時帰宅、通院の同行等を積極的に支援している。家族との外出や外食、外泊、地域行事への参加なども推奨している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	2ユニットある利点を活かし、お互いのユニットを行き来して入居者同士の関わり合いを作っている。また、合同食事会などを開催し、顔なじみの関係を築けるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院や転所にて契約終了後も面会に行くなど関係性を大切にし相談や支援に努める。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個別ケアを重視し各々の課題や問題点などをスタッフ全員で話し合い解決に向けて努めている。	利用開始時の本人、家族からの意向や、日常の会話、表情、サイン等から思いの把握に努めている。職員間で情報の共有を図り、その人らしく生きがいのある日々が過ごせるように工夫しており、利用者が望む趣味や家事の取り組みも心身の状態に配慮しながら、可能な限り支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	基本情報シートや個別計画書などに掲げてあるプランについてのモニタリングなどにて把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人一人に敬意を図り日々の過ごし方やその人らしい生活が有意義に送れるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケースカンファレンスを図りより安全な、安心できる環境を提供できるようスタッフ全員で話し合っている。	介護計画は本人・家族からの意向や、主治医の意見や助言を把握して、モニタリングやミーティング時の意見交換を基にきめ細かな解りやすい介護計画を作成している。ケアの経過は業務日誌やケース記録、身体状況チェック表等に詳細に記録し、申し送り帳も活用して共有を図っており、状態変化に伴う計画の見直しや修正が適切に行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	記録を重視し、報連相の徹底を図っている。疑問点や提案などがある時は話し合いが持てる環境である。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	型にとらわれず介護保険内のできる事例には早期発見、早期対応を図っている。家族とのコミュニケーションも図っている。		
29		○地域資源との協働 ハジコソの春の力を生かしている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域密着に努め、近隣の福祉事業所との交流も実施している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	日頃より関係機関との信頼関係は大切にしている。情報提供に努め良いケアに繋げていっている。	利用前の疾病や受診の経過を把握し、本人・家族が希望する医療機関での診療を支援している。殆どどの利用者が協力医療機関を主治医としており、昼夜を問わず密な連携が図られている。専門医科の受診は家族の同行を基本としているが、家族が不都合な場合はホームで支援している。病状や受診結果は職員や家族と情報の共有を図り適切な受療に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎朝のバイタルチェックやケース記録・申し送り時の著変者など併設看護師へ報告・相談し助言を仰ぐなど適切な受診・看護を受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	担当医の情報提供書や看護サマリー、ADL評価表などで情報共有を図り、管理者・介護支援専門員・計画作成担当者が中心になり病院関係者との関係づくりに努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族へは入所時面談の際やカンファレンスの中で重度化終末期についての話し合いを行っている。スタッフ間では個々人に学習を図ってはいるが、定期的な勉強会はできていない。	重度化や終末期の対応については指針を整備し、利用開始時に説明して本人及び家族の同意を得ている。重度化した時点で家族及び関係者は話し合いを実施し、看護師が主となって可能な限り希望に沿った支援体制で取り組んでいる。これまでも看取りを実施しているが、最近は入院による治療を選択する人が多い。重度化や看取りについての研修を計画的に実施して、職員のスキルアップや不安感の軽減を図っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に勉強会や緊急時マニュアル作成を行い対応方法を掲示し、早期対応できるよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的な防災訓練・通報装置の操作方法の確認等に取り組んでいる。火災・地震時の対応方法について簡潔に掲示してある。</p>	<p>消防署の協力を得て年2回、火災や地震発生を想定した防災訓練を実施し、避難経路の確認などの自主訓練も行っている。スプリンクラーや自動通報装置が設置され、卓上コンロやラジオ、懐中電灯等を整備し食料・水・介護用品等の保管も十分である。日頃から避難経路の確認や報道による災害情報をもとに意見交換を行なうなど防災への認識は高い。隣接の医療機関や在宅福祉の事業所、児童養護施設との協力体制も築かれている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	間違ったり失敗したりされたときはさりげない声掛けをするなどして自尊心やプライバシーを損ねないように配慮している。	プライバシーの確保や個人情報保護については、計画的な研修の実施やケアの振り返り等で認識の共有を図っており、日頃から利用者の誇りやプライバシーを損ねることのないよう言葉遣いやケアに配慮している。排泄や入浴、衣服の着脱のケアに際しては言葉づかい等に特に留意し、また、ホームはプライバシー保護に配慮した構造となっている。台帳類も適切に管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何かしたいことはないか、悩みはないか会話の中でさりげなく聞き出せるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事や就寝など大まかな時間は設定しているが、個々人の生活歴に合わせ自分のペースで生活してもらっている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	好きな洋服を選んできていただいたり、朝の整容がしっかりできるように支援している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好き嫌いなどに合わせ、できる範囲でメニューをアレンジしたりしている。調理の手伝いは難しいが、お盆拭きなどの片付けは一緒にしている。	疾病に伴う食事の制限や形態、栄養バランス、嗜好等に配慮し、給食委員会が主となってメニューの改善に取り組んでおり、おせち、誕生日、敬老会、クリスマス等の行事食、手作りのおやつ、外食、餅つき、家族との会食など食事が楽しみなものとなるよう工夫している。食後の片付けや、テーブル拭き等は、利用者も楽しみながら行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	できるだけ食事・水分をしっかりとりとってもらえるよう工夫しているがまだまだ工夫が必要な方もおられる。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ご自分で口腔ケアができない方については毎食後スタッフにて口腔ケア行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の自立についてはこれ以上低下しないよう現状を維持することが目標である。	生活リズムパターンシートの活用や見守りに努め、利用者に応じた声掛けや誘導を工夫して可能な限りトイレでの排泄を支援している。利用者の習慣や身体機能に合わせたケアの方法や介護用品をプランに組み込み、羞恥心や不安の軽減に配慮した言葉づかいに努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防として毎朝牛乳を提供したり、お昼にヨーグルトを提供したり、オリゴ糖を提供したりと工夫している。また、個別訓練で運動も取入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	本人の希望は可能な範囲で対応し、週3回程度は入浴していただけるよう取り組んでいる。また、機械浴を備え身体機能に応じた入浴も可能である。	入浴は基本週2～3回で健康状態に配慮しながら、足浴や清拭も取り入れて支援しており、特殊浴槽も設置されている。入浴をためらう利用者には、時間帯や順番の変更、職員の交替、声かけの工夫で入浴への意欲が起こるように努めている。入浴時間や好みの温度、シャンプー、入浴剤の利用は柔軟に対応し、入浴が楽しめるように取り組んでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	タバコを吸ったり、居室やソファ等で思い思いに過ごしてもらっている。定期的に布団やシーツを干したり、眠れない時にはホットミルクを提供したり気持ちよく眠れるような支援をしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医や薬剤師から情報を得て薬の説明書を必ず確認し理解に努めている。お一人ずつ配薬・服薬確認をし、症状の変化の確認にも努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物干しや洗濯物たたみ、お盆拭きなど個々人の能力に応じてホームでの役割や張り合いづくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>ドライブや買い物等希望に沿って外出できるように支援している。また、家族の協力を得て自宅に一時帰宅するなど故郷訪問の実施も行っている。</p>	<p>利用者の外出への意向を日頃の会話等から把握し、天候や健康状態に配慮しながら、周辺の散歩や買い物、ドライブ、一時帰宅、墓参等に家族と協力して出かけている。また、桜やコスモスなど季節の花見や地域の行事への参加等、全員での外出も工夫して取り組んでおり、利用者の楽しみとなっている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>個々人の状態に合わせお金を所持している方もいる。入居者の希望に沿って職員付添で買い物に行けるよう支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>事前に承諾を頂き、本人希望時等家族に電話をしたり、友人との手紙のやり取りが出来るよう支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>談話室には季節の花や行事飾り、季節毎の壁画などを展示したり、日付や曜日が分かる手作りカレンダーを設置したりと、季節を感じてもらえるような居心地の良い空間となるよう工夫している。</p>	<p>広い園庭には花や野菜のプランターが置かれ、明るく広いリビングは利用者が季節を感じながら快適な生活になるよう活花や手作りの作品、絵画等が飾られている。リビングの一角に設置された対面式キッチンからは調理の音や匂いが感じられ、空調、衛生、整頓等にも細かに配慮されており、利用者はソファやテーブル等好みの場所で平穩に過ごしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>玄関口にベンチを設置したり、談話室にはソファを設置したりと、入居者が思い思いに過ごせるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>出来るだけ家で使っていた馴染みの物を準備してもらうようにしている。また、ご家族との写真や本人の好きなものを飾ったりと居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	<p>居室はフローリングに腰高窓の仕様で明るく余裕があるスペースで、ベッドやエアコン、小タンスが備えてあり、整理整頓は利用者の意向を確認しながら日常的に支援している。家庭同様に平穏な生活が出来るように、使い慣れたテレビや家族写真、寝具等を持ち込み、自身の作品も飾って、その人らしい和やかな雰囲気のある居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>各部屋やトイレ、お風呂などが分かり易いように表札や看板のようなものを貼り出している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない